

地域の課題解決プロボノプロジェクト 成果報告会 開催レポート

平成 30 年度 地域の課題解決プロボノプロジェクトの総括イベントとして、地域の課題解決に取り組む町会・自治会の先駆的な事例を学びながら、かつ、プロボノについての理解を深め、プロボノプロジェクトによる成果を広く周知することを目的に、プロジェクトの成果報告会を開催しました。

1. 開催概要

- 日時：平成 30 年 3 月 2 日（土）13 時～16 時 00 分（12 時 30 分開場）
- 場所：東京ウィメンズプラザ ホール（東京都渋谷区神宮前 5-53-67）
- 参加費：無料

当日は、町会・自治会関係者、市区町村の町会・自治会担当部門の方、まちづくりや町会・自治会の活動に関心を持つ企業・団体・個人の方等、多様な背景を持った約 170 名*の方にご参加いただきました。本事業を経験した人の生の声を届け、新しい「多様な主体による地域づくり」の方法としての「プロボノ」について広く知っていただく機会となりました。

*一般参加者、登壇者、登壇者・登壇団体関係者、東京都、サービスグラントスタッフを含む

2. プログラム

- ◆ 13:00-(5) オープニング
- ◆ 13:05-(20) はじめに
 - ・ プロボノとは
 - ・ 地域の課題解決プロボノプロジェクトについて
 - ・ 広石氏のご紹介
- ◆ 13:25-(45) 【第 1 部】町会・自治会の課題解決に取り組む個別支援成果報告
 - ・ 個別支援コースとは
 - ・ 登壇 5 団体代表によるパネルトーク（進行：株式会社エンパブリック広石氏）
- ◆ 14:10-(25) 【第 2 部】「プロボノワーカー」と一緒に取り組む伴走支援（町会・自治会のための情報発信講座）成果発表
 - ・ 伴走支援コース「町会・自治会のための情報発信講座」とは
 - ・ 登壇 3 団体代表によるパネルトーク（進行：株式会社エンパブリック広石氏）
- ◆ 14:45-(15) 休憩
- ◆ 15:00-(50) 【第 3 部】交流分科会
 - ・ プロジェクト参加町会・自治会との質疑応答



3. 内容

3-1. はじめに

はじめに、プロボノとは何か、「平成 30 年度 地域の課題解決プロボノプロジェクト」の実施概要について紹介しました。（進行：認定 NPO 法人サービスグラント代表理事 嵯峨生馬）

また、本報告会の進行役 株式会社エンパブリック代表取締役 広石 拓司氏と嵯峨で、

- ・いま、町会が置かれた状況やその課題とは何か？
- ・町会・自治会が活力を持つためのヒントは何か？

についてミニトークを行いました。

広石氏からは、「町を共有している」という感覚が広まれば、町会の見え方も変わってくるのでは、という問いかけがありました。



3-2. 【第1部】町会・自治会の課題解決に取り組む個別支援 成果報告



個別支援とは、「プロジェクト型支援」によって、プロボノチームが、支援先町会・自治会の運営基盤強化に役立つ具体的な成果物を提供するプログラムです。本年度は 10 団体に支援を行いました。第 1 部には、以下の 5 団体へ登壇いただき、プロボノプロジェクトの支援を受けた経験についてお話いただきました。

町会・自治会／登壇者名	区市町村	支援内容
公社西台住宅自治会 小林英子氏	板橋区	ニーズ調査
栄町町会 山本小百合氏	練馬区	印刷物（団体紹介パンフレット）
館ヶ丘自治会 村上浩一氏	八王子市	ニーズ調査
町田市町内会・自治会連合会 竹島 正氏	町田市	ウェブサイト（リニューアル提案）

【内容】

**公社西台住宅自治会 小林英子氏**

高齢化の影響で自治会には若い役員がいない。自治会員も減っている中、この先、どうしたらいいかわからないという思いがあった。今回、ママボノ（育休中のママたちのプロボノチーム）と出会いエネルギーをいただいた。私たちの意識改革になったことが良かった。アンケートでは非会員の方から「自治会は大切」という声が聞けた。

「お手伝いならできる」という人がいることが分かったことも発見だった。これまで自治会員だけで行っていた年末のパトロールに参加を呼び掛けたところ、非自治会員の男性の方が参加された。これから、成果物のアイデアを取り入れながらより良い自治会にするために取り組んでいきたい。

柴町町会 山本小百合氏

町会加入率が下がっていることに危機感を持ち町会紹介のパンフレットを作ろうということになった。最初の話し合いでプロボノチームから「入会したい時にどこへアクセスしたらわからない」と言われて目から鱗が落ちた思いだった。連絡先について見直す機会になり、パンフレットには電話番号やメールアドレスを載せることになった。パンフレットを作ることによって町会の活動内容が整理された。プロボノの皆さんの客観的な目から思いよらない質問をいただくことも新鮮で楽しいやり取りになった。

**館ヶ丘自治会 村上浩一氏**

館ヶ丘団地は京王線高尾駅にある UR の団地で、平均年齢は恐らく 70 歳を超えている。50%以上が後期高齢者。今年度は役員を一新し、新しい取り組みとして八王子市の町会自治会連合会にも参加した。自分たちだけで満足してはいけないと考え、第三者の目での住民のニーズ調査を希望した。プロボノチームには、12 月のキックオフから成果報告会まで素晴らしい動きで感謝している。これまでも課題ははっきりしていたが、第三者の目からよりはっきりした。アンケートの集計には近隣の大学生の協力も得ることができた。八王子市、UR から注目された活動となった。



も課題ははっきりしていたが、第三者の目からよりはっきりした。アンケートの集計には近隣の大学生の協力も得ることができた。八王子市、UR から注目された活動となった。

町田市町内会・自治会連合会 竹島 正氏

連合会のホームページの改修提案をお願いした。プロボノチームのアンケートから、ホームページが活用されていないことがわかった。非会員の方にアプローチしないと会員は増えず、なかなか広がらない。ホームページを魅力あるものにして、皆さんに閲覧していただきアクセス数を増やすことが必要。お祭りや盆踊りなどのイベントの情報を入って「いつ、どこでお祭りがある」という情報を伝えたい。

また、「参加していいのかわからない」と考える方もいらっしゃるので、参加したい人を受け入れられるような楽しいイベントを広げていきたい。さらに世代を超えた交流が組織を下支えすることになると考えている。



茂呂町会 大野泰彦氏

役員がパワフルに活躍している町会だが、幹部役員は全員 70 歳以上、80 歳以上の方もいらっしゃる。「役員高齢化に伴う世代交代」という大きな課題があった。世代交代のためには、まず新しい人に入ってもらうといけな。そのために、今回のプロジェクトでは町会業務の棚卸しを行った。プロボノワーカーによる 10 回以上のヒアリングの結果、しっかりした成果物を納品していただいた。新しく町会に関わる方に、こういうことをやっているとわかる資料ができた。

自分たちではやりたくても取り組めなかったことを実現できたのが大きな成果。成果物を今後どう活用するかという点は我々の課題として残っている。しっかりやれるようにしていきたい。

3-3.【第 2 部】「プロボノワーカー」と一緒に取り組む伴走支援（町会・自治会のための情報発信講座）成果発表



伴走支援とは、先進事例をモデルに、目標とする成果物作成に町会・自治会のみなさまに臨んでいただくプログラムです。成果物作成にあたっては、プロボノワーカーが、課題解決に伴走し、サポートを行いました。本年度は参加した 9 団体のうち、以下の 3 団体に登壇いただき、成果物であるホームページ、または、Facebook の制作に取り組んだ経験についてお話をいただきました。

町会・自治会／登壇者名	区市町村	成果物
加賀五四自治会 竹澤喜孝氏	板橋区	Facebook
鷹番 1・2 丁目町会 山本瑩子氏	目黒区	Facebook

【内容】

**加賀五四自治会 竹澤喜孝氏**

江戸時代に加賀藩前田家の広大な下屋敷があった町にある。五四は、米軍進駐軍の占領下での管理番号54が由来。石神井川沿いの桜並木が美しい、板橋区でも1,2を争う新しい住民が増えている町。若い方に情報を届けたいと思い、今回はFacebookに取り組んだ。当初は、役員会で反対されたが、何とか承認を得て昨日（3月1日）から公開できることとなった。講座ではいろいろな町会との交流の機会となり有意義であった。

**鷹番1・2丁目町会 山本瑩子氏**

目黒区で世帯数が三番目に大きい町会。町会に感心を持たない方が多くワンルームマンションもあり、広い土地に住んでいた方が高齢化で売却すると数軒の家が建ち、若い方が多く住み始めている。そういう方たちに町会を知ってもらうためにどうしたらいいかと考えてきた。情報発信するためにはどうしたらいいかと考え、最初はホームページを作ることにしたが町会内で承認が得られずFacebookを立ち上げることにした。少しずつ広がっていったらいいと考えている。スマートフォンで気軽に見ることができる利点も感じている。立ち上げてよかったと思っている。

東郷町会 熊谷英雄氏

若い人や単身の高齢者は回覧板を回すことは難しい。ホームページを通して町会の情報を若い世代に知ってほしいと思って講座に参加した。地域の安心・安全を始め、町会のいろいろな活動を通して参加を促し、町会にかかわってほしいと願っている。ホームページでは、ラジオ体操や納涼祭など町会の行事を紹介していき、写真をどんどん掲載しようと考えている。ホームページを活用しながら情報を発信し、参加を呼び掛けていく。

次の世代の認知を得たい。また、ホームページに触れる人に声かけをしていきたい。

**3-4. 参加町会・自治会の生の声にふれる交流分科会**

プロジェクトに参加した町会・自治会に、参加者が直接質問することができる場として、4つの会場に分かれ、20分ごとの入替え制で「交流分科会」を実施しました。各会開始後、担当のスタッフが会場から

質問を受け付け、その質問に対して団体の方に回答いただくかたちで進行了ました。各会の登壇団体、会場は以下の通りです。

グループ	団体名	会場
①情報発信	町田市町内会・自治会連合会 栄町町会 東郷町会 加賀五四自治会 プラウドシティ梅島自治会 東元町一丁目自治会	ホール
②ニーズ調査	紀尾井町町会 公社西台住宅自治会 狭山自治会	視聴覚室 A
③業務改善	グリーンサイド東青梅自治会 茂呂町会	視聴覚室 B
④ニーズ調査	館ヶ丘自治会 薬王寺町町会	視聴覚室 C



4. 参加者アンケート

○件数

回答者数 106名（回収率 70.2%*） *参加者のうち、運営関係者除く参加者・登壇者 151名対象

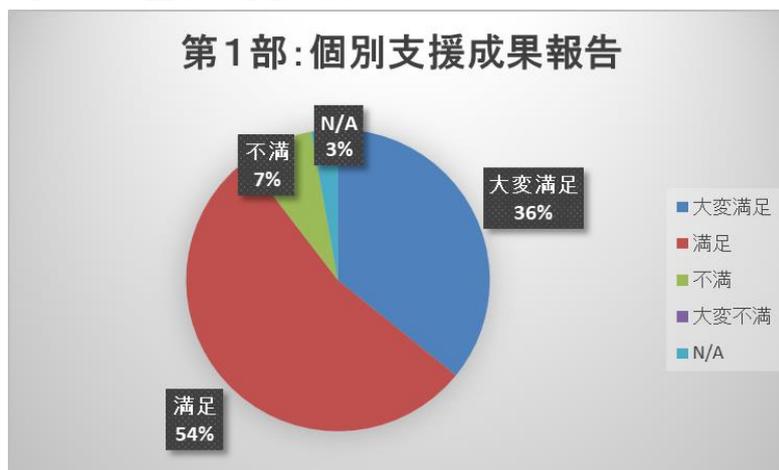
○結果

Q1:各部の内容について

第1部、第2部は約90%、第3部は60%以上が満足と回答。

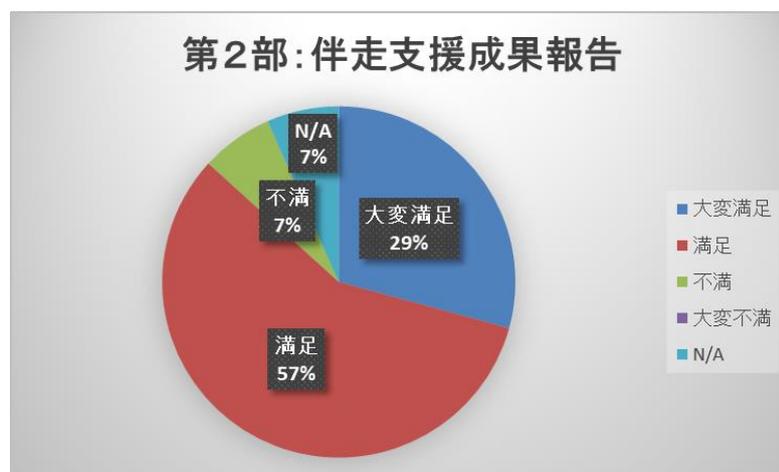
第1部：個別支援成果報告

大変満足	38人
満足	57人
不満	8人
大変不満	0人
N/A	3人
合計	106人



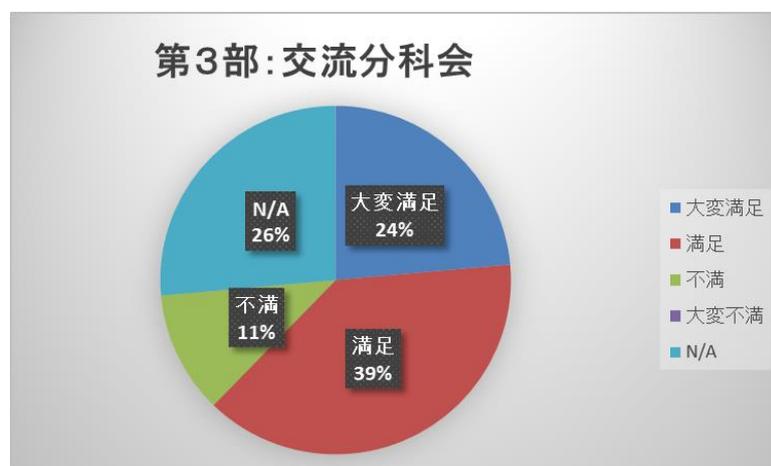
第2部：伴走支援成果報告

大変満足	31人
満足	61人
不満	7人
大変不満	0人
N/A	7人
合計	106人



第3部：交流分科会

大変満足	25人
満足	41人
不満	12人
大変不満	0人
N/A	28人
合計	106人



Q2:Q1の回答を選んだ理由・コメント（一部抜粋）

《満足した理由等》

- ・ 情報発信への取り組みが具体的にお話しただけで、非常に興味深いものがありました。（第2部）
- ・ 実際にHPやFacebookを運用している自治会のお話が聴けて良かった。（第2部）
- ・ 全て実感のこもった報告なので現場の想いや熱を感じ大変参考になりました。（全般）
- ・ 悩みながらも地域で主体的に課題に取り組みプロボノワーカーの力を借りて解決に近づいていく様子がわかった。（全般）
- ・ 自治会の悩みや課題、非会員の意見プロボノワーカーの支援効果各々が理解しやすく、勉強になりました。当事者の生の声をきける機会は貴重でした。（全般）
- ・ 他の町会も同じ問題を抱えていることが分かった。（全般）
- ・ 「町の共有」良いですね。（広石氏トークより）

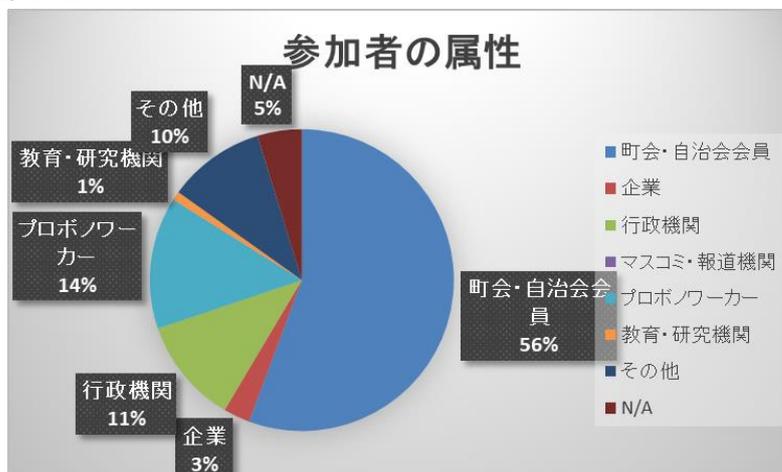
《改善要望を含むコメント》

- ・ どういう問題があって、それをどう解決したのか知りたかった。プロボノのスタッフがどういうふう
に解決の糸口を作ってくれたのか。分科会の時間が短すぎる。（第3部）
- ・ 交流分科会は少し時間が短すぎる印象でした。全体でのファシリテーションの中での質疑応答でも
良かったのかもしれない。広石さんの進行はスムーズで聴きやすかったです。（第3部）
- ・ 第1部自治会側の話が良くわかったが、プロボノ側の話がないのが残念。第2部も同上。（第1部、
2部）

Q3:参加者属性

半数以上の参加者が町会・自治会の方であった。

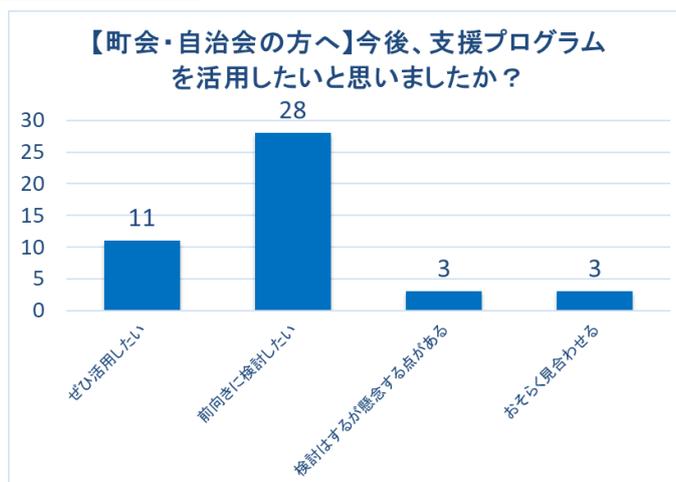
参加者の属性	
町会・自治会会員	59人
企業	3人
行政機関	12人
マスコミ・報道機関	0人
プロボノワーカー	15人
教育・研究機関	1人
その他	11人
N/A	5人
合計	106人



※その他：地域支援NPO、NPO、一般市民、まんが家、練馬区民、社協職員

Q4:【町会・自治会対象】今後の支援プログラムの活用について

町会・自治会 支援プログラムの活用	
ぜひ活用したい	11 人
前向きに検討したい	28 人
検討はするが懸念する点がある*1	3 人
おそらく見合わせる*2	3 人
合計	45 人



※1「検討はするが懸念する点がある」内容

- ・ 自治会員の交流、ふれあいなどでつながり作り、場づくりをしたいと思っているが具体策が知りたい。
- ・ 本日の紹介自治会は皆 500～1500 世帯（推定）で、自治会、会長、役員を長期間されている様で、私共の自治会（140 世帯）から考えると参考になりませんでした。
- ・ 役員の高齢化と若者は仕事を持っているので、役員間で打ち合わせが必要です。

※2「おそらく見合わせる」理由

- ・ 力不足か・・・戸数も少ない
- ・ 役員会で平成 31 年度は見送るという決議になりました。私の説明不足もあり。

Q5:本イベントへのご意見、ご感想等（一部抜粋）

- ・ 今年初めて知り、参加しました。共通の悩み「会員の減少」「会員、役員の高齢化」を解決したいと思って参加する団体が多いとわかり、ヒントもたくさんいただきました。
- ・ プロボノを活用された皆さんの生き生きとした表情が印象的でした。
- ・ 進行プレゼンなど分かりやすかったと思います。
- ・ 交流分科会での質疑応答は非常に興味深いものばかりでした。ぜひこの内容をまとめて PDF など配布してほしいです。
- ・ 話の内容が具体的でおもしろかった。学者でなく、実践者の話は貴重でした。

《要望を含むコメント》

- ・ 壇上を明るくするのは結構ですが、ときに席側が暗く、メモをとりにくい状態でした。
- ・ 各町会の会員数の紹介をしていただきたかった。
- ・ 会場が暑すぎたので、開始前の調整をお願いしたいです。成果報告よりも交流分科会に時間を多く割いて欲しいです。成果報告は、各組織の方からの話よりも事前にヒアリング頂いたまとめを紹介頂くのがベストかと思います。
- ・ プロボノワーカー側からのコメントを聴く機会を設けて欲しい。都内の自治会活動が盛んであることに驚いた。

- ・ 本イベントの動画を公開してほしい。または詳しい記事を公開して欲しい。ここに来られない人が見られるように、また自治会で検討する材料にするために。

○アンケートから得られた示唆

参加町会・自治会の発表は、他の町会・自治会にとって自団体の活動の振り返りや改善策の検討につながった様子がうかがえる。プロボノプロジェクトの内容について、さらに詳細情報を期待する声があったので、今後開催する入門講座やウェブサイト等でメディアを活用して、さらなる情報発信に努めたい。また、交流分科会は、直接声が聴ける場として概ね満足いただけたが、時間をもう少し長く設定してほしいという希望があった。次年度のプログラム策定の参考としたい。

以上